

事務事業チェックシート

事務事業No 事業名
487 市道維持修繕事業（道路管理）

[長期総合計画]	
分野別目標	4 自然環境と都市基盤が調和した快適なまち
政 策	1 道路網の整備
施 策	2 生活道路の整備
基本方針	2 道路・橋梁・トンネルの適正管理

[まち・ひと・しごと創生総合戦略]	
基本目標	IV 時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守る
政策	1 都市のコンパクト化
施策	イ 道路・公共交通ネットワークの整備

事業種別	継続	主な事務事業
事業期間		～
事業実施の根拠法令	道路法第16条	
関連個別計画		
担当課・担当課長（Tel）	道路管理課	木村 芳裕 435-1088
関連課		

1 事業概要及び実施内容

事業目的（「誰・何」をどういう状態にする」ための事業か）		事業内容		
事業概要	道路施設の修繕事業	所々修繕、樹木等処分委託、応急工事委託、舗装維持修繕委託、側溝等浚渫委託、花壇管理委託、植栽管理委託、道路維持修繕工事、舗装維持修繕工事等を行う。		
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
	所々修繕、樹木等処分委託、応急工事委託、路面清掃委託、土砂運搬委託、土砂処分委託、舗装維持修繕委託、側溝等浚渫委託、花壇管理委託、植栽管理委託、道路維持修繕工事、舗装維持修繕工事等を行った。	所々修繕、樹木等処分委託、応急工事委託、路面清掃委託、土砂運搬委託、舗装維持修繕委託、側溝等浚渫委託、花壇管理委託、植栽管理委託、道路維持修繕工事等を行った。	所々修繕、樹木等処分委託、応急工事委託、路面清掃委託、土砂運搬委託、土砂処分委託、舗装維持修繕委託、側溝等浚渫委託、花壇管理委託、植栽管理委託、道路維持修繕工事等を行った。	所々修繕、樹木等処分委託、応急工事委託、路面清掃委託、土砂運搬委託、土砂処分委託、舗装維持修繕委託、側溝等浚渫委託、花壇管理委託、植栽管理委託、道路維持修繕工事等を行った。
実施内容				

2 事業コスト

		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度	
		当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費等 千円	事業費	350,840	355,557	509,310	572,854	647,847	579,752	591,674		591,674	
	伸び率(%)	-	-	45.2%		27.2%		-8.7%		0.0%	
	人件費	常勤職員	53,616	48,374	48,374	48,509	48,509	44,829	44,829	44,829	
		非常勤職員	3,515	3,010	3,010	3,634	3,634	1,406	1,406	1,406	
		小計	57,131	51,384	51,384	52,143	52,143	46,235	46,235	46,235	
	国庫支出金				112,655	93,060	74,147	135,663		135,663	
	県支出金										
	市債			117,000	64,600	123,000	102,300	73,600		73,600	
	その他										
	一般財源(税等)	350,840	355,557	392,310	395,599	431,787	403,305	382,411		382,411	
所要人數	常勤職員	7.23	6.37	6.37	6.39	6.39	6.03	6.03		6.03	
	非常勤職員	1.67	1.43	1.43	1.94	1.94	0.95	0.95		0.95	

3 目標及び実績

指標名及び達成状況							平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
活動指標	苦情件数						年度目標値				
							実績値	400	400	400	
	单位	件	全体目標値	—	全体目標達成度	—	年度別達成度				
							年度目標値				
成果指標	要望件数						実績値	900	900	900	
							年度別達成度				
	单位	件	全体目標値	—	全体目標達成度	—	年度目標値				
							実績値	266	303	281	
修繕件数	修繕件数						年度別達成度				
							年度目標値				
	单位	件	全体目標値	—	全体目標達成度	—	実績値				
							年度目標値				
							実績値				
							年度別達成度				
	单位	件	全体目標値	—	全体目標達成度	—	年度目標値				
							実績値				

4 事業の評価

評価基準				
[妥当性]事業のニーズはあるか	<input type="radio"/>	増加している	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	<input type="radio"/>	現行の手段でよい	一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	<input type="radio"/>	市が行うべき	他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	中長期的に取り組む	<input type="radio"/> 緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	<input type="radio"/>	できる	あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している(90%以上)	<input type="radio"/> おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	<input type="radio"/> 一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	<input type="radio"/>	できない	制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	<input type="radio"/> 負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方針性（担当課評価）

事業内容の方向性	充実				<input type="radio"/>
	現状維持				
	縮小				
	廃止				
	ゼロ	縮小	現状維持	拡大	
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	今後も市道が増加し、道路施設の老朽化が進むため、経済活動や市民生活への影響を最小限に抑えるよう、適正な管理が必要である。
「見直し」「改善」案	改善案として、職員数の増員確保による体制の整備及び強化、並びに維持管理費等予算の増額による確保が必要となる。具体的に、何人増員と判断できないが、現在の人員では困難と考えられる。